



生き生きと働きたい!!

【職場要求アンケートより】

時間帯	割合(%)
定時	6
～18時	20
～19時	27
～20時	33
～21時	12
21時～	2

方が多数の年齢構成です。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

項目	割合(%)
取れている	2
時々取れる	10
殆ど取れない	86
知らなかった	2

45分の休憩取得について

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。



泉北教組では一学期より「職場要求アンケート」を行い、各職場の勤務労働条件、教育条件の状況把握に努めてきました。ここに紹介します。

そして、それらの切実な要求を「重点要求」「一般要求」にまとめ、各教育委員会に提出しました（予定を含む）。教育委員会との交渉は、十一月～十二月の予定です。

午後7時過ぎても約半数は仕事

左表は「この一週間、平均すると何時頃学校を出ることができましたか」への回答です。

驚くべきことに、午後7時を過ぎても（この時点で既に一時間半の時間外勤務が発生）40%以上の先生方が学校で仕事をしています。

これは、私たちの勤務労働条件が極めて劣悪なことを、事実を持って証明しています。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

それは、働き盛りとともに、子育てにも多くの時間が必要な年代です。

アンケートには次のような声が寄せられました。

◆夏季休業中は午前中に教材を作ったり、クラブを指導したりする。

午後研修に行き、5時に学校を出ると、家で娘の話を聞き用事をして、夕食を作り、それでも7時30分に食べられる。普段が忙し過ぎる。声が出なくなり、倒れそうである。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

います。まさに「ブラック」。

今、職場は四十才以下の

います。まさに「ブラック」。

を、事実を持って証明して

高石の小・中学校の教育条件等の改善を求める要望書

日々、子ども・生徒達に最良のものを与えようと教職員は教育活動を行っています。そのような教育実践を後押しする上で以下の教育条件改善等は必要最低限のものと考えます。ぜひ、一刻も早く実現してください。

【要望項目】

(1) すべての教室にエアコンを設置してください。特にすべての支援学級への設置を急ぐとともに、未設置の特別教室への設置を速やかに行ってください。

さらに、空調設備の補修や総合的なメンテナンス等については、特別な予算を組むなど教育委員会の責任で実施してください。

(2) トイレの改善ならびに改修について必要な予算措置を行い、特に洋式トイレの設置数を増やしてください。

(3) 各校の消耗品費、備品費を増額してください。また、紙代・コピー代・インク代などをPTA予算・学級費等で負担しないよう各校を指導してください。

(4) 小学校の校務員、警備員をそれぞれ専任で、常時配置してください。

(5) 小・中学校の35人以下学級が、早期に実施されるよう府や国にはたらきかけてください。また、それが実現していない段階でも、市独自で小・中学校の35人以下学級の措置を取ってください。

さらに、次のような教育条件の時は、市独自の負担で教員を加配してください。

- ・支援学級在籍児童・生徒を通常学級にダブルカウントした時、1クラスの人数が40人を超える学級がある場合に、教員を加配し学級数を増やしてください。

- ・来年度小学校3年生の学級編成において、学級減がみこまれる時は、教員を加配し学級数を維持してください。

(6) 中学校教育に大きな歪みをもたらしている「大阪府チャレンジテスト」に参加しないでください。また、中止を府教委に求めてください。

とりわけ、同テスト結果をもとに、強制的に個人の評定を変更せたり、中学校の評定範囲を決めたりすることについては、即刻中止するよう府教委に強く求めてください。

教育条件等の改善署名に

【高石版】

ご協力ください

「パワーハラが増えていると実感・把握している。なくす取組みをすすめていかねば」(府教委回答)

これは、大教組との交渉での府教委回答です。

今年4月に管理職研修でハラスメント研修を入れた」

とも回答しています。

アンケートには次のような声が寄せられました。

◆運動会の日、ラインを引く等で早くから勤務していたが振り替え等は無かった。

◆部会や学年の人事について。(入ったことのない部会で長になったり：などで困っています)

◆人事面で職場の声を管理職がもっと聞いてくれる体制をとってほしい。

◆前年度、校長に病氣又は介護の長期休暇を取ることをお願いした時に、「代わりの人を見つけてほしい。それなら可能。」と言われた。(結局 休暇は取れず)

◆うちの校長は自分の意見を押し通そうとする。人の意見に耳を傾けてほしい。